

<目指す学校像>
生徒が「日本一だ」と誇りをもって卒業することができる学校

<学校教育目標>
志高く 心豊かな生徒
主体的に学び、考える生徒
たくましく生きる生徒

熊谷東中学校だより
第10号
し の の め

東雲

令和5年2月27日発行

4つの実践

- 朝ごはんをしっかり食べる。
- 呼ばれたら「はい」と元氣よく返事をする。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- 友だちをたくさんつくる。

3減運動

- 減** テレビの時間を減らします。
- 減** ゲームの時間を減らします。
- 減** スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

スマホ使いの方向性

自分や周りの人の情報を管理します。

他人を褒めつづけます。

生き方への自覚を持つ

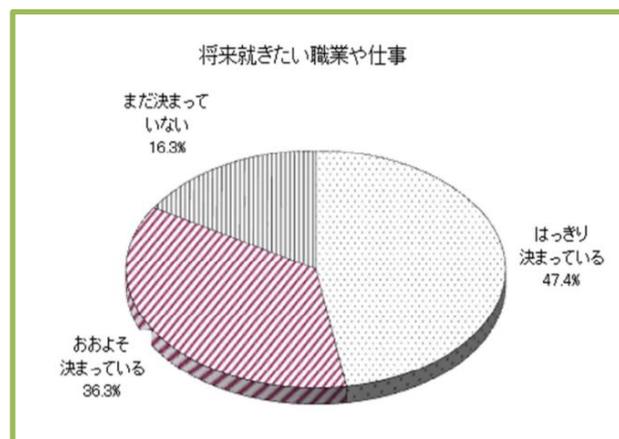
熊谷市立熊谷東中学校長 伊藤 幸男

中学3年生の公立高校受検、高校3年生の国公立2次試験前期受験が終了する今頃になると、緊張感からようやく解放され、日常生活に幾分ゆったりとした雰囲気に戻ってくる感じがします。

文科省の集計したデータ(令和2年度)によると、全国の中学3年生の高等学校等への進学率は、国・公・私立の全日制、定時制へ95.5%、通信制を含めると98.8%という状況になっています。この傾向は、ほぼ30年以上にわたって横ばい状況が続いています。

しかし、その一方で、同年度の高校中退者数は、全体の1.1%にあたる約35,000人という事実があります。約110,000人と膨大な数が存在した20年近く前と比べるとはるかに減少してきていますが、引き続き注視していくことは必要でしょう。中途退学の事由としては、別の高校・各種学校等への「進路変更」が圧倒的に多く、「高校生活・学業不適応」「家庭の事情等」と続きます。「何のために高校へ進学するのか」ということをよく意識しないで進学した結果、目的意識を持ってないでいる高校生が多いことが大きな要因です。中途退学の特徴としては、かなり昔に多かった生徒指導上の問題で「退学させられる」という割合は大きく減少し、むしろ、「目的意識が低く、学ぶ意欲を失ってがんばりがきかなくなって退学していく」生徒の割合が圧倒的に多いのが現状です。事実、市内の高等学校の校長との話で、退学のきっかけで多いのは、①4月から5月にかけての適応状態がうまくいかない生徒が多い ②お金欲しさにアルバイトに傾倒するあまり基本的な生活習慣が乱れ、徐々に勉学意欲を失くしてしまう生徒がいる ③進級時において、単位不足や時数不足のために原級留置(いわゆる留年)になってしまう生徒がいる ということでした。

ですから、進路選択は一時的なものではなく、将来を見通した高校進学であることをぜひ中学校1、2年生のうちから押さえましょう。右の円グラフは、文科省が全国5,000人の高校生に「あなたは将来就きたい職業や仕事が決まっていますか。」という質問の回答を集計したものです(平成24年度)。中学生とは発達段階も違ってきますが、多くの高校生が将来を前向きに考えている実態が分かります。まだ中学生であり、高校生活の様子が具体的につかめず、不安や疑問を抱くのは当然です。このため、将来に対する長期的な展望を可能な限り持てるようお家の人と進路について話をしたり、興味・関心のある進路に関する本を読んだり、上級学校の説明会等に参加しているような情報を集めることからまず始めてみましょう。「入りやすい学校を選ぶ」といった「うまく入学すること」を最終目的に設定することなく、より良い納得のいく3年間を過ごせ、希望する進路につながるような学びを築ける場所としての進学先を選ぶことが大切であることを忘れずにいてください。



3年生の皆さんは、中学校での生活も残り少なくなってきました。ぜひ、4月からの新生活に向けて自分の心構えを再確認し、新たな生き方の自覚をもって母校を巣立っていけるよう準備を進めてください。



熊谷東中歳時記（2月）



後期スキルゲットタイム（S.G.T）開始【2月1日（水）～】



本校独自の学力向上に向けた取組「スキルゲットタイム」が始まりました。この取組のねらいは、今年度1年間の学習の振り返りを行いながら、基本的な知識や技能の確実な定着を図ることです。全校一斉で朝の時間に取り組んでいます。3月10（金）まで、計画的に進めていきます。この活動のまとめとなる「チャレンジテスト」で満点が取れるように一步一步頑張ってください。

児童生徒美術展学校代表作品 校内掲示開始【2月2日（木）～】



学校代表に選ばれた作品が学校に帰ってきました。どの作品からも丁寧に作成した様子や、作成する上での思いが伝わってきます。

校舎内は、素晴らしい作品が多く掲示されています。努力の成果でもある作品たちを来校された際は、ぜひ、ご覧になってください。

ムサシトミヨ繁殖報告会（環境委員会）【2月18日（土）】



熊谷東中学校の伝統的な活動の一つに「ムサシトミヨ繁殖活動」があります。ムサシトミヨは、平成3年から「県の魚」に、そして、平成23年には「熊谷市の魚」になりました。また、環境省や埼玉県のレッドリストで、「絶滅危惧 IA 類（ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの）」に分類されています。

2月18日（土）に市立商工会館で行われた「ムサシトミヨ繁殖報告会」は、熊谷東中、佐谷田小、久下小の繁殖活動が報告されました。指導講評では、「大変立派な内容であった」とお褒めの言葉をいただきました。環境委員会の委員の生徒が日々の管理を丁寧に行っている成果でもあります。これからも大切な自然、伝統を私たちの手で守り、次へつなげていきましょう。

【お知らせ】

熊谷東中学校では、授業のある日にほぼ毎日更新しているホームページを開設しています。ぜひ、記事などを毎日ご覧になってください。

(QRコード→)

